

# 一 般 教 育 訓 練 明 示 書

講座の名称	助産学専攻科				
実施方法	①(通学) ( 昼間・夜間・土日 ) ② 通信 スクーリング(回数 回)				
指定講座番号(15桁)	3022001	—	2310012	—	6
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象講座の指定期間 2022年 4月 1日	過去一年の講座実績	入講者数(累積) ( 8人)	修了者数 ( 8人)	
訓練期間	12ヶ月		総訓練時間	1,035時間	
<b>1. 教育訓練目標</b>					
①取得目標とする資格の名称、目標レベル		助産師			
②①に係る資格・試験等の実施機関名称		厚生労働省			
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等		本学に1年在学し、38単位(必修37単位+選択1単位)以上の単位修得した場合、修了が認定され、助産師国家試験受験資格が得られる。			
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況		診療所(クリニック)、病院など助産実践現場で、助産師として活用される。また、地域における母子保健活動に携わり、地域貢献ができる助産師として活用される。			
<b>2. 教育訓練の内容</b>					
教科 (カリキュラム)		時間	使用教材名		
助産学概論		15			
ウイメンズヘルス総論		15			
マタニティヘルス総論(周産期の生理と病態)		30			
乳幼児の成長・発達		15			
母子と家族の心理社会学		15			
生殖医療と生命倫理学		15			
助産診断・技術学Ⅰ(妊娠準備期から妊娠期)		30			
助産診断・技術学Ⅱ(分娩期)		30			
助産診断・技術学Ⅲ(産褥期)		30			
助産診断・技術学Ⅳ(新生児・乳幼児)		30			
助産診断技術学演習(分娩介助)		60			
周産期の救命救急演習		30			
健康教育演習		30			
カウンセリング論		15			
地域母子保健学		30			
助産管理学		30			
助産学実習Ⅰ		90			
助産学実習Ⅱ		315			
助産学実習Ⅲ		45			
助産学実習Ⅳ		90			
助産学研究		30			
災害と助産		15			
英語文献講読		15			
遠隔診療技術の基礎(選択)		15			
国際母子保健活動論(選択)		15			
<b>3. 受講者となるための要件 (この講座を受講するために必要とされている条件など)</b>					
①受講するに当たって必要な実務経験等		特になし			
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準		大学を卒業した者。入学時に看護師免許を有する者。			
③その他					

# 一般教育訓練明示書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況					
<b>(1) 資格取得状況</b>					
① 前年度内の受講修了者数	0	人			
② ①のうち目標資格の受験者数	0	人	受験率(②/①)	0.0	%
③ ②のうち合格者数	0	人	合格率(③/②)	0.0	%
④ 上記②・③の回答者数	0	人			
<b>(2) 受講修了者による講座の評価等</b>					
① 回答者総数	0	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	0	人	②A: 就業者計	0人
	2 非正社員、派遣社員	0	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 非就業	0	人	②B: 非就業者計	
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	0	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	0人
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人		
	3 社内外の評価が高まる	0	人		
	4 円滑な転職に役立つ	0	人		
	5 趣味・教養に役立つ	0	人		
	6 その他の効果	0	人		
	7 特に効果はない	0	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	0	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	0人
	2 希望の職種・業界で就職できる	0	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	0	人		
	4 趣味・教養に役立つ	0	人		
	5 その他の効果	0	人		
	6 特に効果はない	0	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	0人
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	0	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	0	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	0人
	2 おおむね満足	0	人		
	3 どちらとも言えない	0	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		
<b>(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)</b>					
5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法					
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法		卒業単位を満たし卒業試験合格。各科目の学修評価、実習評価の点数による。			
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数					
6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席率66%(2/3)以上、試験合格率5段階評価(上から4段階以上合格)で判定、補講・追試は認める。</li> <li>・卒業単位を満たすこと。</li> </ul>					

# 一 般 教 育 訓 練 明 示 書

7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法	
(1)受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	各講義・実習において、個別に技能・知識を確認しながら修得度を把握し、一定レベルに到達していない者に指導を行っている。
(2)受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例:資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	指導教員が全学生と個別面談を行い、アドバイスを与えている。また、事務局で履歴書添削、面接対策などのサポートや、就職情報を掲示板等に掲示して周知している。
8. その他の事項	
指定教育訓練実施者名及び代表者名	学校法人 青葉学園 (代表者名: 理事長 田村 哲夫 )
住所及び連絡先	東京都品川区五反田四丁目1番地17号 TEL 03-5421-7655
施設名称及び施設長名	東京医療保健大学 和歌山助産学専攻科 (施設長: 和歌山事務部長 守道 賢次 )
住所及び連絡先	和歌山県和歌山市小松原通4-20 TEL 073-488-1907
給付制度担当部署・者	東京医療保健大学 和歌山助産学専攻科 和歌山事務局 (担当者: 亀岡 崇宏 )
連絡先	TEL 073-488-1907
一般教育訓練経費	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) 1,360,000 円
支払い方法	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。) 210,000 円
① 一括払	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。) 1,150,000 円
② 分割払	(うち、必須教材費 円)
③ 両方可能	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) 271,980 円
	① 副読本代(税込額) 円
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額) 円
	③ 施設維持費(税込額) 250,000 円
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額) 22,980 円
	3. 総額 (1+2) (税込額) 1,632,980 円

[ 特記事項 ]

--